

## 稲作の使用例

種もみ消毒・水浸け：種もみを50～200倍のライフアップ水溶液に3時間くらい浸けておく。育苗箱に播種

- ①堆肥散布
  - ②荒おこし：2～5ℓを500倍に薄めたライフアップ水溶液を散布して、荒おこしをする。
  - ③荒あけ
  - ④代かき
  - ⑤田植え：田植え直後に水口から10a当たり2～5ℓ流し込む。
  - ⑥水落とし前：穂肥えとして、10a当たり2ℓの灌水をする。
  - ⑦水落とし：穂肥えとして、500倍のライフアップ水溶液で葉面散布をする。
  - ⑧水落とし後：身肥えとして、500倍のライフアップ水溶液で葉面散布をする
- ※葉面散布は、500倍に薄めたライフアップ水溶液で農薬を希釈して散布することができる。

## スイカの使用例

- 1回目：根基に500倍位で灌水をする。
  - 2回目：1ヶ月後に500倍～800倍位で灌水する。
- 消毒や農薬の葉面散布をされる時には、500倍のライフアップ水溶液で希釈をし葉面散布する。

## トマトの使用例

- 10a当たり1週間に1回の灌水をする。
- 1) 1回目：5ℓ～6ℓの灌水をする。
  - 2) 2回目以降：2ℓ～3ℓの灌水をする。
- 消毒や農薬の葉面散布をされる時には、500倍のライフアップ水溶液で希釈をし葉面散布する。

## 芋の使用例

苗をライフアップ水溶液（50倍～100倍/1時間～3時間）に浸けておく。定植後にライフアップ水溶液500倍で灌水する。消毒や農薬の葉面散布をされる時には、500倍のライフアップ水溶液で希釈をし葉面散布する。